

2017年（平成29年）2月期 第2四半期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2016年10月14日（金）

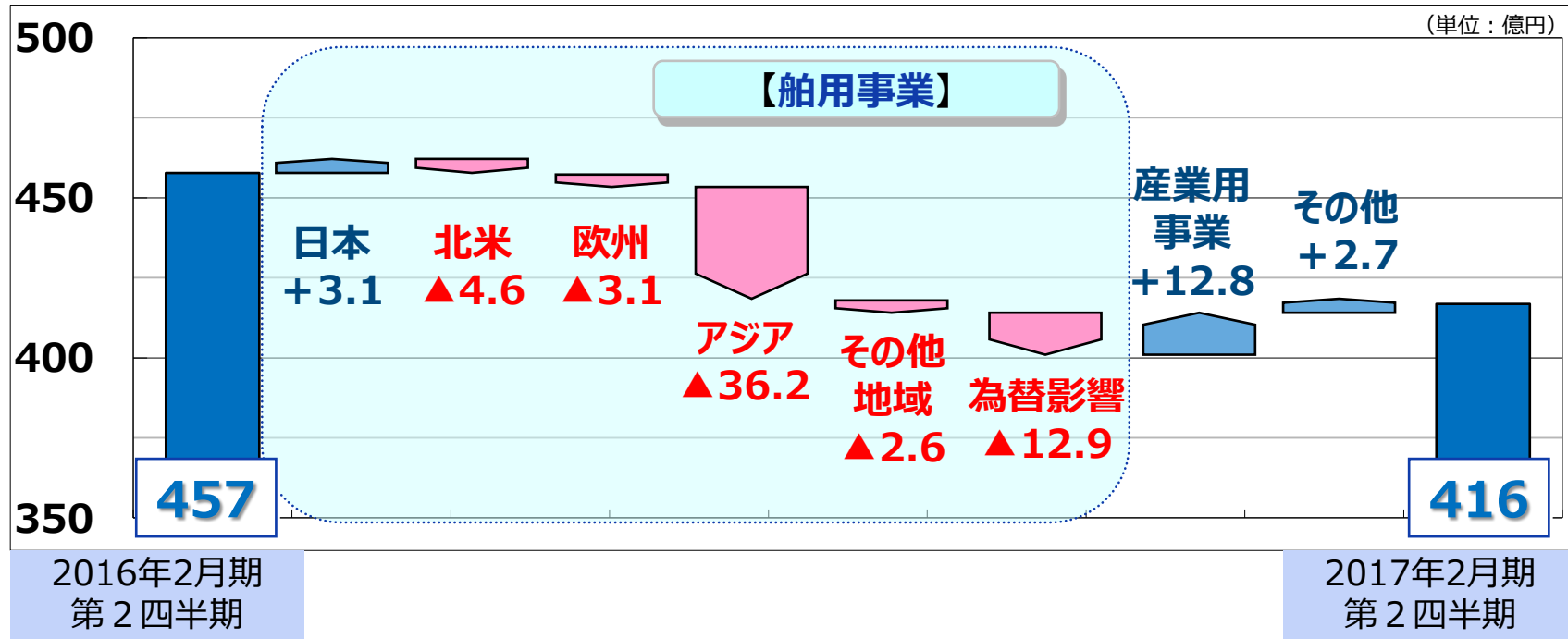


注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	45,774	41,683	▲4,091	▲8.9%
売上総利益 (対売上高比率)	15,298 33.4%	14,953 35.9%	▲345 +2.5	▲2.3%
営業利益 (対売上高比率)	1,949 4.3%	2,389 5.7%	+440 +1.5	+22.6%
経常利益 (対売上高比率)	2,236 4.9%	2,130 5.1%	▲106 +0.2	▲4.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	1,449 3.2%	1,919 4.6%	+470 +1.4	+32.4%
研究開発費 (対売上高比率)	2,372 5.2%	2,061 4.9%	▲311 ▲0.2	▲13.1%
設備投資額 (対売上高比率)	1,562 3.4%	1,988 4.8%	+426 +1.4	+27.3%
減価償却費 (対売上高比率)	1,292 2.8%	1,342 3.2%	+50 +0.4	+3.9%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	120	116	▲4	▲3.3%
為替（対ユーロ）	136	125	▲10	▲7.5%



◆ 船用事業 ▲56億円

- 為替影響 ▲13億円
- 日本・北米：主要3市場で減収
- 欧州：商船向けで減収
- アジア：全市場で減収拡大

◆ 産業用事業 +13億円

- ヘルスケア事業で減収
- 通信・GNSSソリューション事業で増収

◆ その他 +2.7億円

- 無線LANアクセスポイントが好調

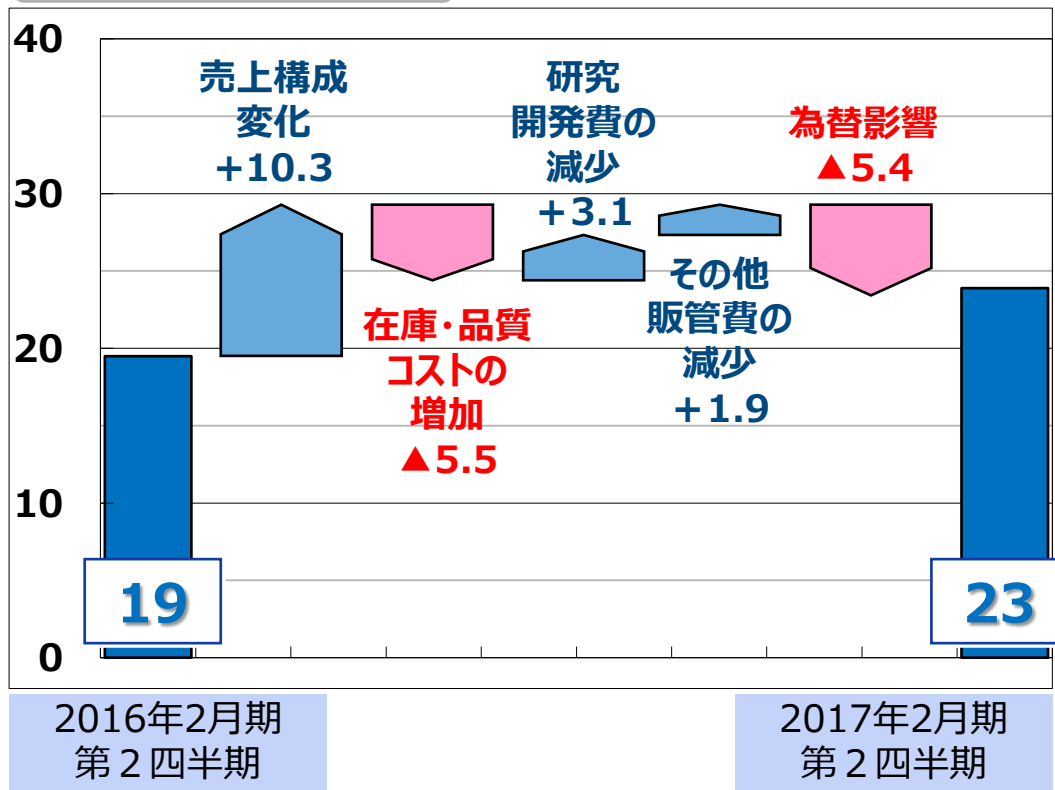
※ 為替感応度 (2016年2月期実績値)

【ドル】売上高1.5億円、営業利益0.5億円

【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆ 営業利益 +4.4億円

【改善】 +15億円

【悪化】 ▲11億円

◆ 経常利益 ▲1.1億円

営業外収益 ▲0.1億円

営業外費用 +5.4億円

▶ 前期：為替差益 1.3億円

▶ 今期：為替差損 5.4億円

◆ 四半期純利益 +4.7億円

特別利益 ▲2.8億円

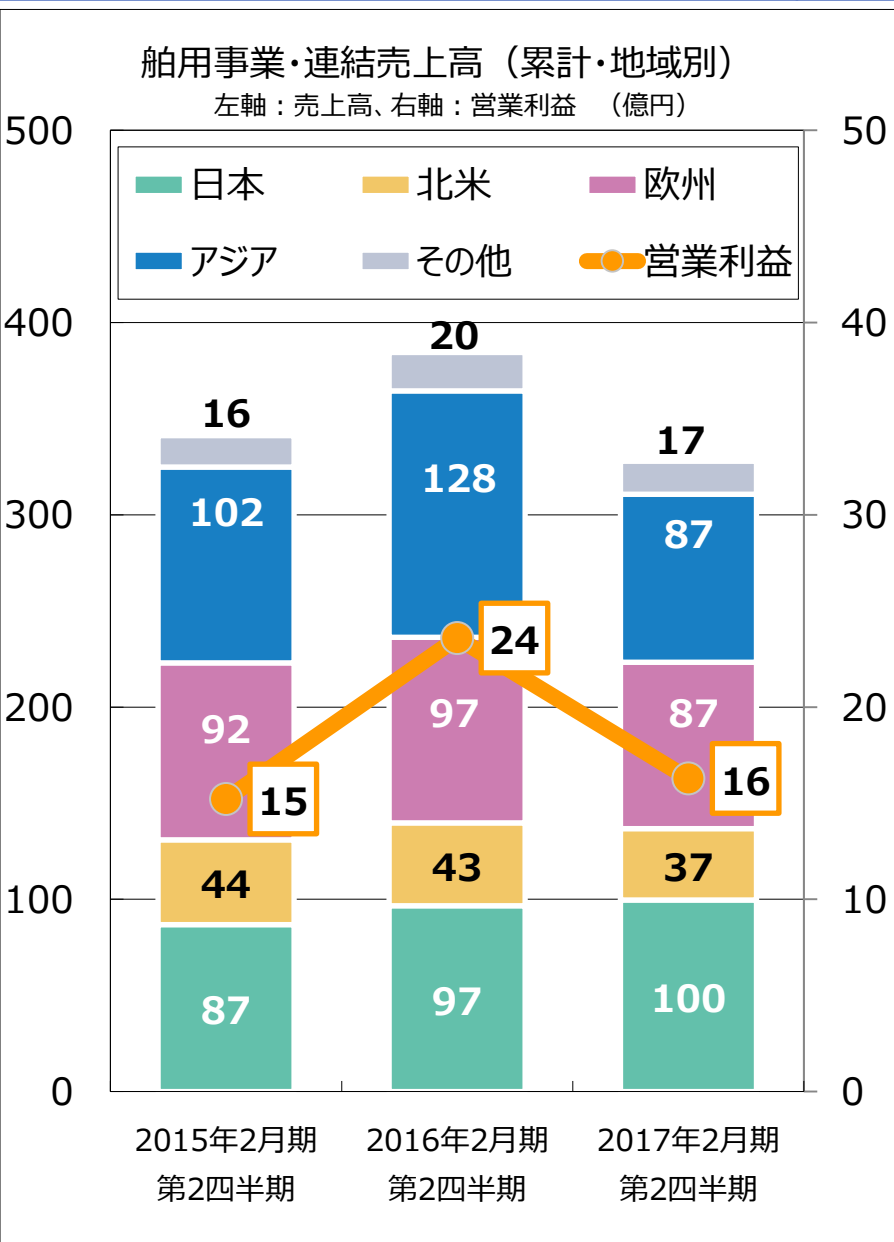
▶ 前期：

投資有価証券売却益 2.6億円

特別損失 ▲7.0億円

▶ 前期：

防衛装備品関連損失 6.2億円



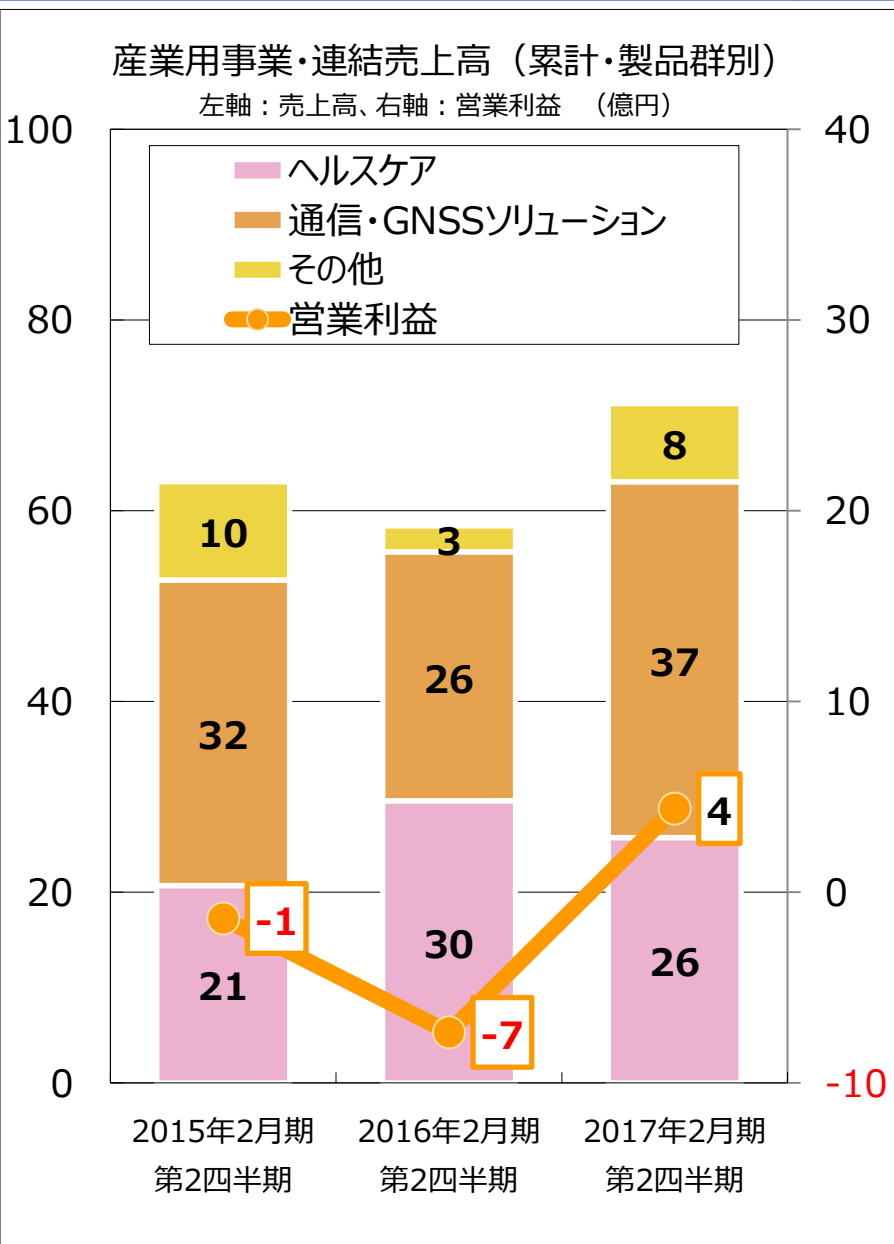
売上高 327億円（前年同期比 ▲14.7%）

セグメント損益 16億円（▲7億円）

商船向けの減収と為替影響で減益

- ◆日本：売上高 100億円（+3.2%）
▶増収継続も商船向け前年並みに鈍化
- ◆北米：売上高 37億円（▲14.0%）
▶3市場ともに減収
- ◆欧州：売上高 87億円（▲10.4%）
▶商船向け減収拡大、小型商品堅調
- ◆アジア：売上高 87億円（▲31.9%）
▶商船向け、漁業向けいずれも減収拡大

※2017年2月期第1四半期決算説明資料から、「プレジャー向け」の表記を「小型商品」に変更しております。



売上高 71億円（前年同期比 +22.0%）

セグメント損益 4.4億円（+11億円）

ETC車載器などが好調

研究開発費の減少で利益改善

◆ヘルスケア事業：

売上高 26億円（▲13.0%）

▶ 大型の生化学自動分析装置が減収

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 37億円（+43.0%）

▶ ETC車載器、周波数発生装置が増収

◆その他：売上高 8.2億円（+199.6%）

▶ 防衛省向け売上が増加

※2017年2月期第1四半期決算説明資料から、「医療機器」の表記を「ヘルスケア事業」に変更、「GPS機器」と「ITS機器」を「通信・GNSSソリューション事業」に統合しております。

船舶用ソフトウェア開発大手のNAPAと船舶運航のデジタル化支援に関する協業を開始

- ◆当社は、フィンランドの船舶用ソフトウェア開発大手NAPA Ltd.と全世界の船舶運航に関するデジタル化をサポートするサービスの販売、開発および事業化を共同で推進していくことに合意しました。
- ◆今後は、船舶に搭載される当社の各種機器とNAPAのアプリケーションとの連携などを通じて、海事産業におけるIoT分野の需要拡大に対応する方針です。

ウェブサイト⇒ http://www.furuno.co.jp/news/all_category/20160903_001.html



▲写真左：当社・小池宗之 専務取締役 船用機器事業部長
写真右：NAPA Juha Heikinheimo社長

業務用の無線LANアクセスポイント「ACERAシリーズ」、新商品 2 機種を順次発売

- ◆当社グループの株式会社フルノシステムズは、業務用の無線LANアクセスポイント「ACERAシリーズ」の新商品として、無線の安定性を強化した802.11ac Wave1仕様の2機種「ACERA 1020 / 1010」を順次発売します。
- ◆本商品は、「ACERAシリーズ」で高く評価されている多台数接続と耐干渉波性能による無線安定性を大幅に進化させたほか、スタイリッシュで放熱効果の高いアルミダイキャスト製の筐体デザインを採用することで、高い通信機能と設置環境の制約軽減を両立しました。



▲「ACERA 1020」の外観イメージ

ウェブサイト⇒ <http://www.furunosystems.co.jp/>

(単位：百万円)	前回予想 (2016年7月14日発表)		今回予想 (2016年10月7日発表)	増減額	増減率
	2016年2月期実績	2017年2月期予想	2017年2月期予想		
売上高	89,720	81,000	81,000	-	-
売上総利益 (対売上高比率)	29,634 33.0%	26,400 32.6%	27,800 34.3%	+1,400 +1.7	+5.3%
営業利益 (対売上高比率)	2,911 3.2%	900 1.1%	1,700 2.1%	+800 +1.0	+88.9%
経常利益 (対売上高比率)	3,362 3.7%	400 0.5%	1,300 1.6%	+900 +1.1	+225.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	2,624 2.9%	200 0.2%	1,200 1.5%	+1,000 +1.2	+500.0%
(単位：円、期中平均レート)					
為替 (対ドル)	121	100	100	-	-
為替 (対ユーロ)	135	110	110	-	-

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

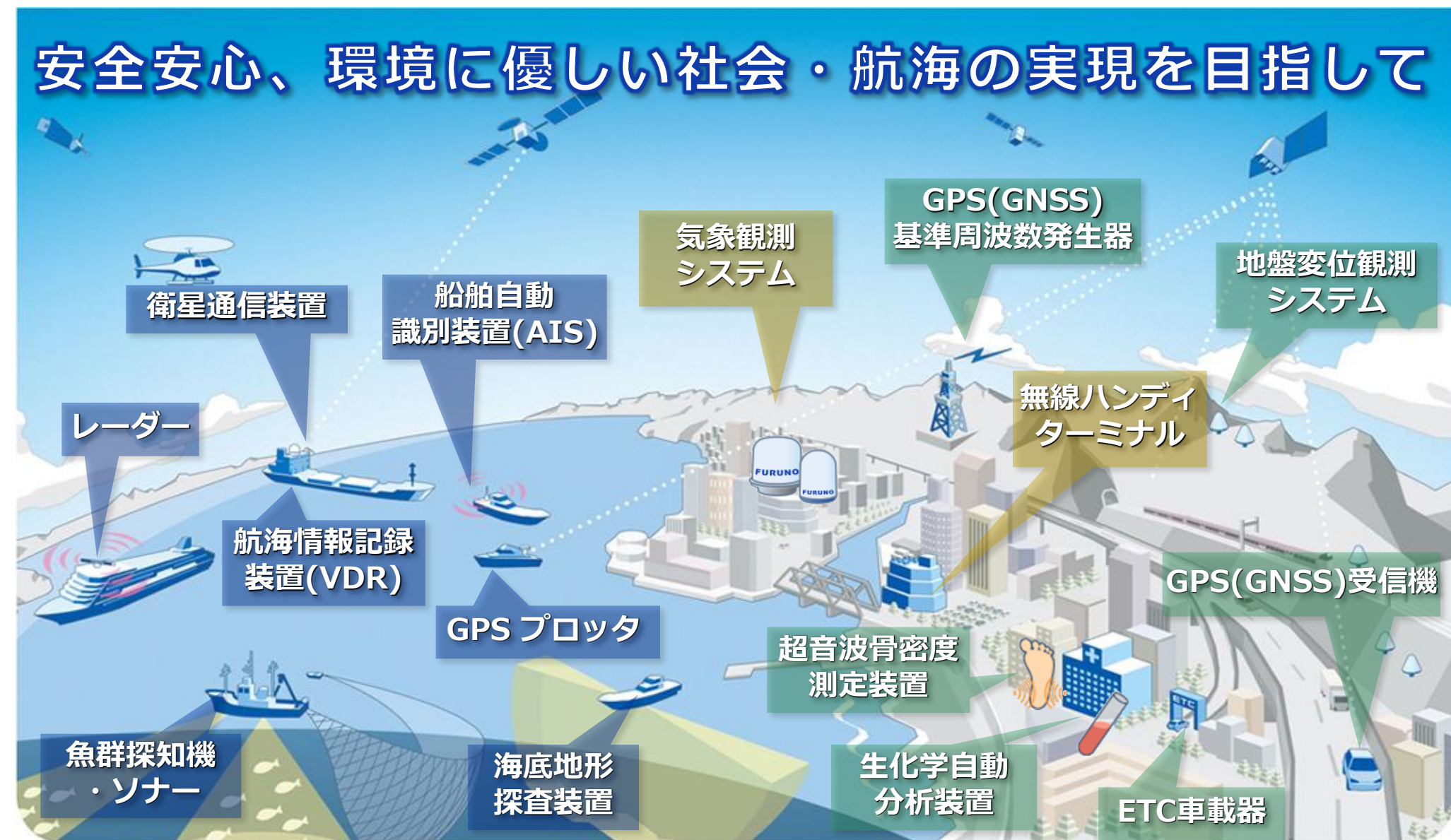
2016年2月29日現在



社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年(昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 6814)

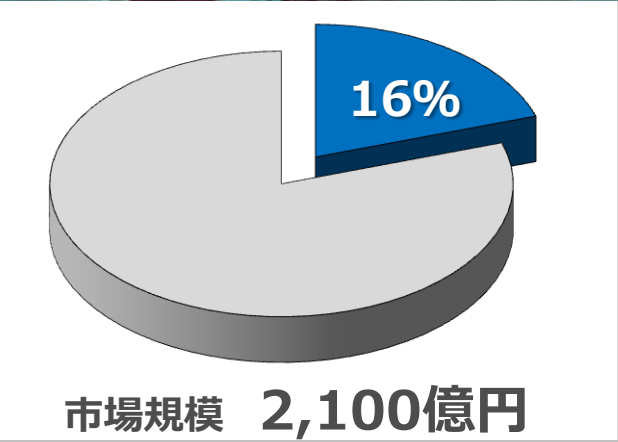
I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>
製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

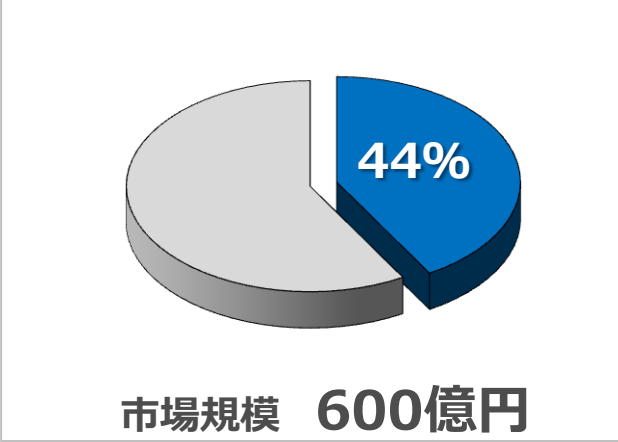


市場規模は、2015年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



漁業向け



総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 4,500億円のうち、シェア16%占める)